

科目名	慢性看護学特論 I Chronic illness Nursing I	科目区分	専門	単位数	2単位
教員名	高橋佳子, 佐々木裕子, 谷口千枝	必修・選択	選択	開講年次	第1学年
				開講学期	前学期
科目概要	慢性疾患を有する人への看護の基盤となる理論や概念を学び、討議を通して実践と研究への展開について理解を深める。また、慢性疾患を「病い」と捉える意義と、慢性の病いをもつ対象者(家族を含む)を把握し、看護に必要な理論及び隣接諸科学の理論を講義・文献学修・討論を踏まえて理解する。さらに、対象への看護介入について文献検討・発表・討論などを通して考察し、効果的な援助法の開発を思考する。				
目標	<ol style="list-style-type: none"> 慢性の病いをもつ対象者の特徴を捉える主要な概念・理論を学修し、説明できる。 慢性の病いをもつ対象者の具体的事例について、学修した理論・概念を用いて論じることができる。 今日の慢性看護学の動向について、包括的な文献検討に基づいて説明できる。 慢性の病いをもつ対象への看護介について発展的な思考に基づいた議論ができる。 				
内 容	1	ガイダンス	授業の進め方 慢性看護学におけるコアコンセプト	高橋佳子 谷口千枝	
	2	慢性の病い特有の困難な問題と背景①	慢性の病いをもつ対象者が抱える特有の複雑で解決困難な問題と課題、その背景	高橋佳子 谷口千枝	
	3	対象者理解のための重要概念・理論・モデル①	ヘルスプロモーション, エンパワメント	佐々木裕子	
	4	対象者理解のための重要概念・理論・モデル②	ストレングスモデル, マギルモデル	佐々木裕子	
	5	対象者理解のための重要概念・理論・モデル③	セルフケア, セルフマネジメント, セルフレギュレーション, 社会的学習理論(自己効力感)	高橋佳子 谷口千枝	
	6	慢性の病い特有の困難な問題と背景②	「慢性疾患を生きる」ことの意味 病いの軌跡と語り 病みの軌跡	高橋佳子 谷口千枝	
	7	慢性に経過する人々への終末期ケア	亜急性型, 慢性型における終末期看護の現状と課題	高橋佳子 谷口千枝	
	8	遠隔医療と遠隔看護	慢性の病いをもつ対象者に必要な遠隔医療と遠隔看護 On-lineで行う遠隔的な看護介入の課題	高橋佳子 谷口千枝	
	9	多職種との連携・協働①	退院支援と地域包括ケア	佐々木裕子	
	10	多職種との連携・協働②	地域包括ケアにおける看護職者の役割	佐々木裕子	
	11	事例分析①	概念・理論を用いた実践事例分析①	高橋佳子 谷口千枝	
	12	事例分析②	概念・理論を用いた実践事例分析②	佐々木裕子	
	13	慢性看護における研究・実践の検討①	文献レビューとディスカッション①	高橋佳子 佐々木裕子 谷口千枝	
	14	慢性看護における研究・実践の検討②	文献レビューとディスカッション②	高橋佳子 佐々木裕子 谷口千枝	
	15	慢性看護における課題と展望	まとめ	高橋佳子 佐々木裕子 谷口千枝	
学修方法	<ol style="list-style-type: none"> 講義前には、講義内容に関連する書籍・文献を読み込んで授業に臨むこと(90分程度)。 講義後は、講義内容やディスカッションした内容を振り返り、復習しておくこと(90分程度)。 授業では、学生のプレゼンテーション、ディスカッションを通して学修を深める。 授業内容の質問、プレゼンテーション、ディスカッション、レポートについては、全体または個別に、その都度フィードバックを行う。 				
評価方法	3分の2以上の授業への出席により評価する。 プレゼンテーションやディスカッションの内容(40%)、課題レポート(60%)から総合的に評価する。				
テキスト・参考書	参考書： <ol style="list-style-type: none"> Ilene Morof Lubkin, RN, MS, CGNP 他, 黒江ゆり子他訳：「クロニックイルネス 人と病いの新たなかかわり」, 医学書院, (2007/5), 6,800円+税 Albert Bandura(原著), 本明 寛他訳：「激動社会の中の自己効力」, 金子書房, 初版8刷(2009/10), 6,000円+税 その他適宜提示する。				
履修上の注意	学生主体で授業を進めるため、関連文献の事前学修やディスカッションなど積極的な参加を求める。				